

伊陸夢プランだより

第15号
令和4年9月22日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

伊陸地区予約制乗合タクシー「いかち まいか号」

オープニングセレモニー

令和4年10月1日（土）午前6時45分 伊陸公民館駐車場にて

かねてからお知らせしております「伊陸夢プラン」の行動計画の一つ「デマンド交通の導入」がいよいよ実現いたします。10月1日（土）より伊陸地区内の公共交通手段として、防長バスに替わり伊陸地区予約制乗合タクシー「いかち まいか号」の運行が始まります。それを記念いたしまして、10月1日（土）午前6時45分より、伊陸公民館駐車場でオープニングセレモニーを行います。伊陸地区の皆さまにとって、より身近な公共交通として根付いていく事を期待しております。

さて、「いかち まいか号」は利用登録をしなければ利用できませんが、現在約 名の方が登録されております。各自治会の自治会長・班長の皆様のお力添えや、役員の皆さまのPR活動のおかげだと感謝致しております。一方で、「登録しなければ利用できないから登録はしたものの、実際に利用できるかどうかは不安。」という方も多いようです。不安がある方には「22-3333に電話する。」「『いかち まいか号』を利用する事を言う。」とお伝えしています。そして、「まずは『行き』を利用してみてください。慣れる事が第一歩です。」と。身近な方のアドバイスは安心感へ繋がると思います。多くの方が話題にすることで、「いかち まいか号」に親近感を持っていただけるようお願いしております。

また、YouTubeに「いかち まいか号」の説明動画をアップしております。

「いかち まいか号」と検索すれば視聴できます。

動画は公民館でも視聴できます。



🌀 台風の季節到来 🌀

「災害への備えはできていますか？」

台風や大雨は、毎年大きな災害をもたらします。警報などの防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり軽減することが可能です。台風や大雨の危険が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、災害への備えをもう一度確認しましょう。

💡 POINT 💡

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。(概ね、台風の予報円に入る2日前～前日)

家の外の備え

- ・側溝や排水口は掃除をして水はけをよくしておく
- ・屋根や塀などの点検をする
- ・風邪で飛ばされそうな物は固定したり、家の中に格納する

家の中の備え

- ・非常用品の確認
懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など
- ・室内からの安全対策
雨戸がない場合、飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドを降ろしておく
- ・水の確保
水が出なくなる事に備えて、飲料水を確保するほか浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する

避難場所の確認など

- ・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しておく
- ・普段から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておく(自宅で待機する場合、安全確保できる場所を決めておく)
- ・避難する時は、持ち物を最小限にして両手が使えるようにしておく

非常持ち出し品の一例

- ・飲料水、レトルト食品・缶詰などの非常用食品
- ・救急医薬品、常備薬、マスク、
- ・現金(小銭も)、預金通帳、印鑑、健康保険証など身分証明書
- ・下着、タオル、寝袋、雨具、軍手
- ・缶切、懐中電灯、ラジオ、電池、ティッシュ、筆記用具、ゴミ袋
- ・防災頭巾やヘルメット

📠 「伊陸地区コミュニティ協議会」の公式 LINE を活用しませんか？ 📠

「伊陸地区コミュニティ協議会」では、地域の情報に加え、害獣情報なども公式 LINE で発信しています。今後、地域内で大きな災害が起こった場合なども情報を発信していきたいと考えています。情報を共有することで、地域で協力して避難したり、二次災害の防止に繋がることを目指しています。離れて暮らすご家族が公式 LINE に登録することで地域の情報を得ることができ、安心につながるのではないのでしょうか？

離れた場所からの登録方法：LINE のホームを開く → 「友達追加」 → 「検索」 →

ID「@474dxuce」を入力 → 「確定」 → 「検索」 → 「追加」(登録完了)